

日本山村硝子株式会社
第97期 定時株主総会

事業報告

招集ご通知 20～35ページ

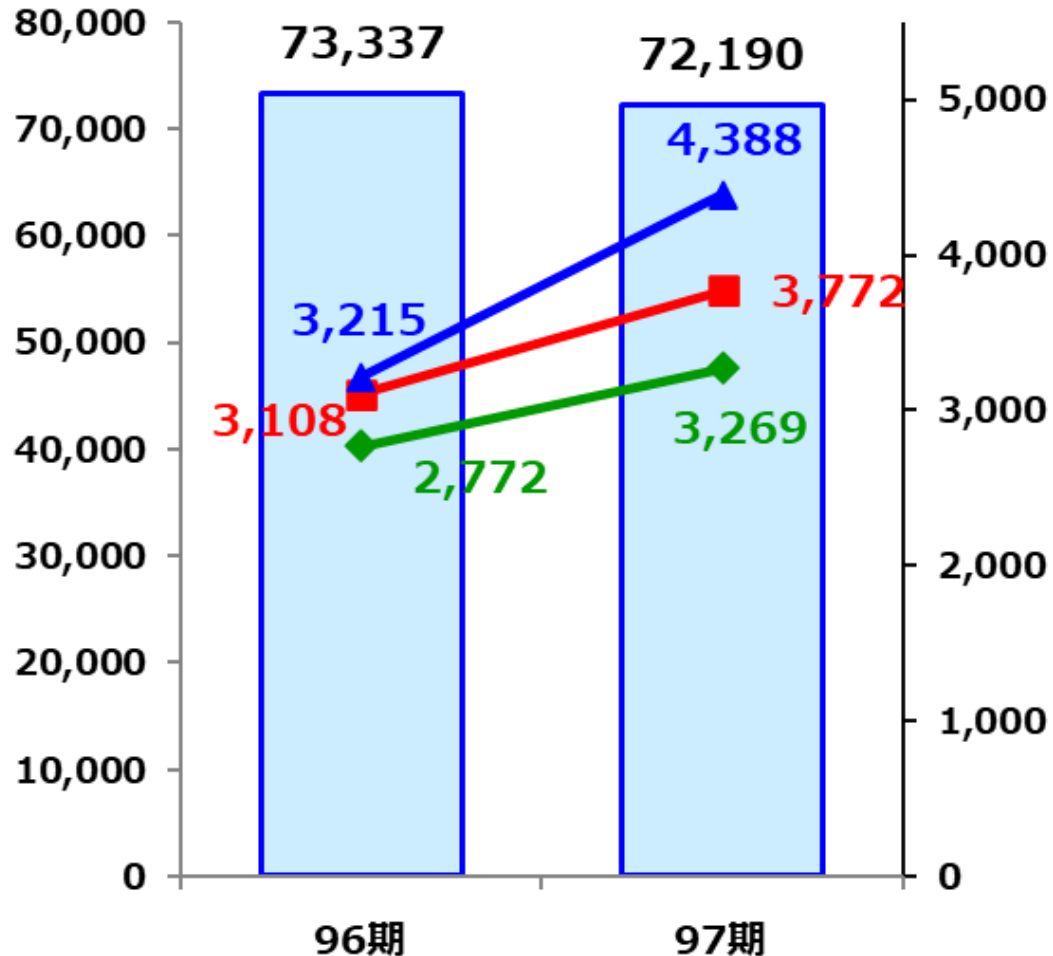
当社の連結業績

売上高

営業利益

経常利益

親会社株主に帰属する当期純利益



➤ 売上高

プラスチック、物流、ニューガラスセグメントは増収であったものの、ガラスびんセグメントの減収により減収

➤ 営業利益

ガラスびん、物流、ニューガラスセグメントにおいて、価格改定等の影響により増益

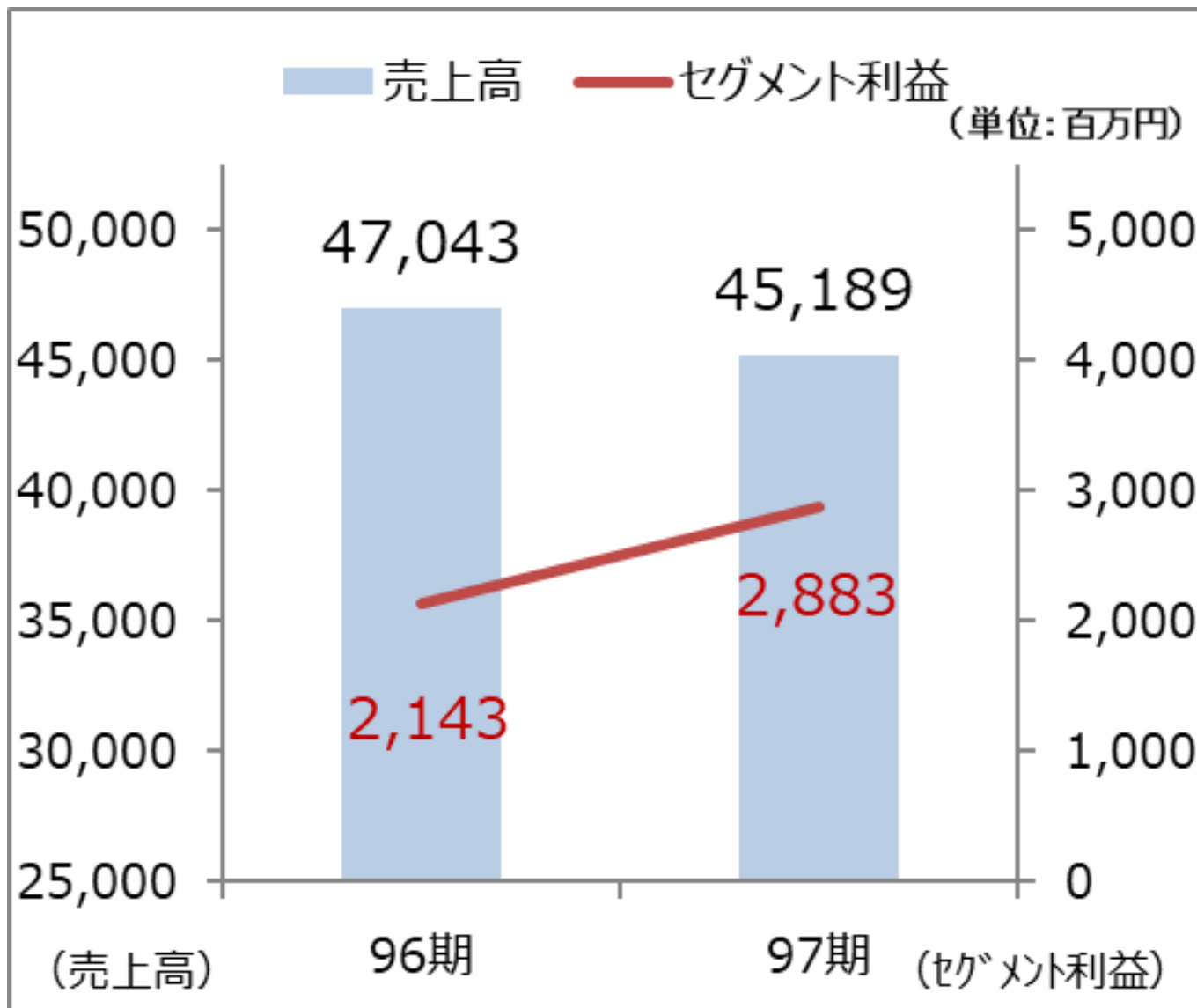
➤ 経常利益

営業利益に加え、持分法による投資利益の増加により増益

➤ 親会社株主に帰属する当期純利益

税金費用が増加したものの、経常利益の増加により増益

事業セグメント別の概況 ガラスびん関連事業



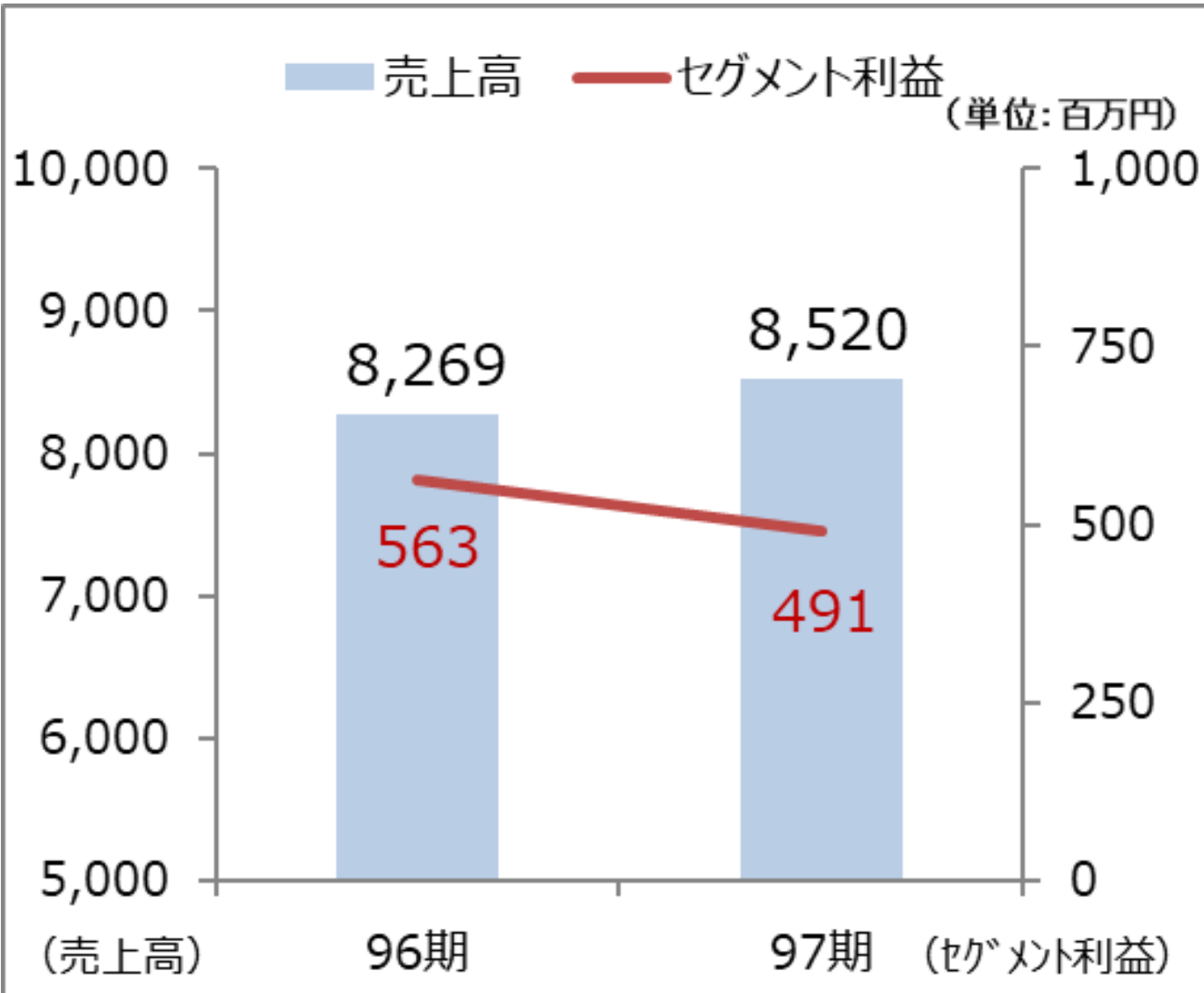
■ 売上高

国内ガラスびんの販売単価の上昇、製びん関連設備等の売上増加があったものの、国内ガラスびんの出荷量の減少等により減収

■ セグメント利益

製びん関連設備の売上増加やガラスびん販売単価の上昇、減価償却費等の減少により増益

事業セグメント別の概況 プラスチック容器関連事業



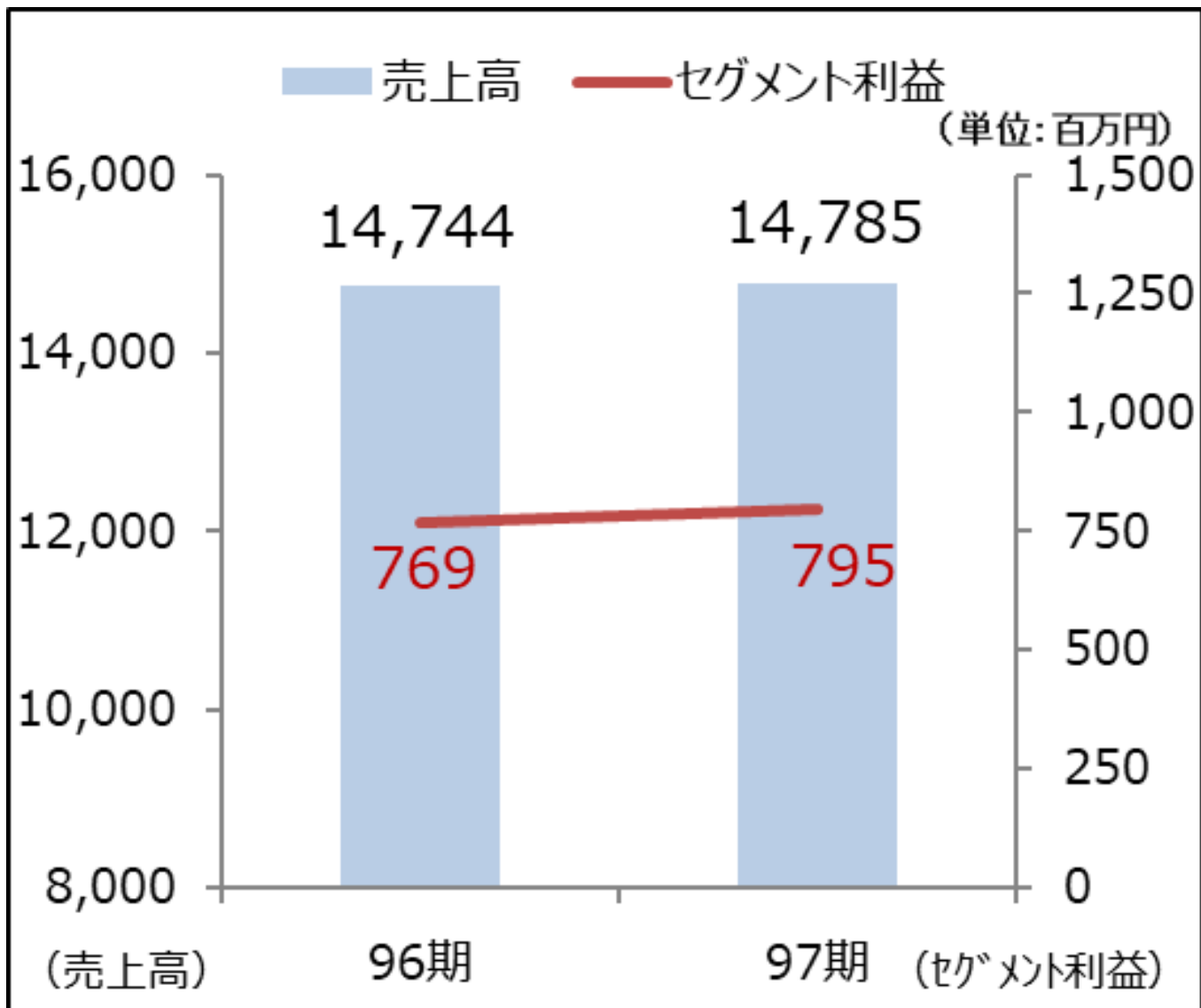
■ 売上高

国内における飲料用キャップの出荷の増加や中国での販売が増加したこと等により増収

■ セグメント利益

販売量の増加やそれに伴う生産増による良化があったものの、中国の子会社の生産規模拡大のための工場移転に伴う土地賃借料等の製造固定費が増加したこと等により、減益

事業セグメント別の概況 物流関連事業



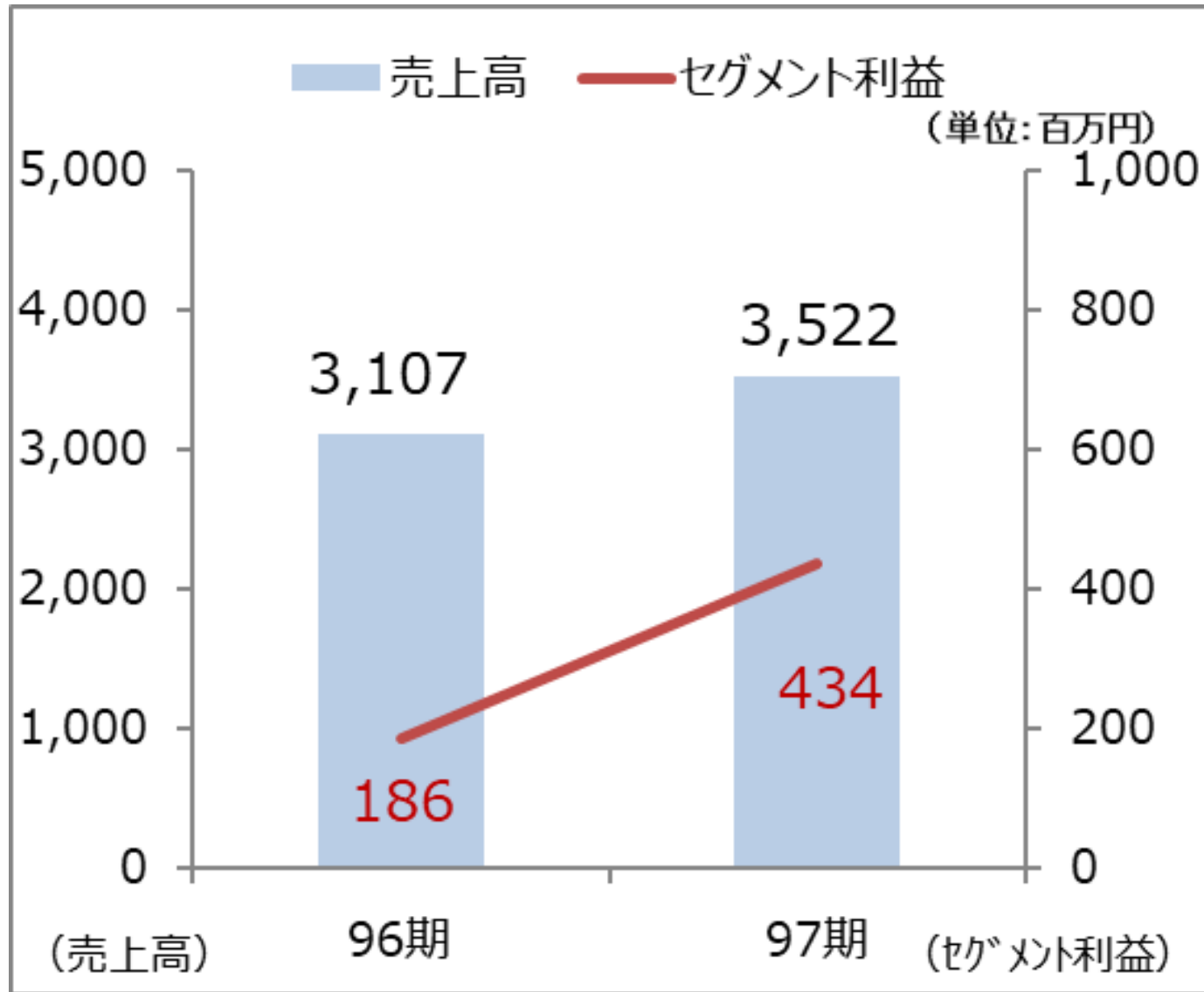
■ 売上高

新規業務の増加や価格改定の実施等により、増収

■ セグメント利益

増収による増益効果に加え、配送効率の改善によるコスト削減等により増益

事業セグメント別の概況 ニューガラス関連事業



■ 売上高

電子部品用ガラスや半導体向けガラスセラミックス製品等の出荷が堅調に推移し、また、価格改定の効果もあり、増収

■ セグメント利益

増収による増益効果やコスト削減等の損益改善により増益

事業報告（当社の概況）：

➔ 招集ご通知20～35ページ、当社ウェブサイト

連結計算書類：

➔ 招集ご通知36～38ページ、当社ウェブサイト

報告事項2．計算書類：

➔ 招集ご通知39～41ページ、当社ウェブサイト

基本哲学（フィロソフィ）

〔基本理念〕

事業は人なり

商いの基は品質にあり

革新なくして未来なし

〔存在意義〕

人と技術の力で、豊かな社会と快適な生活をつくりだす

〔コーポレート・メッセージ〕

Heart & Technology

グループ経営ビジョン

100年先も必要とされる会社

豊かな社会をつくりだす

「ガラス事業をコア」とし、それを支えるその他の事業や
未来に大きな収益源となる「未来事業」を加え、
すべての事業で成長を実現する

グループ経営ビジョン
「100年先も
必要とされる会社」へ

2025年

創業111周年



YAMAMURA ONE

ガラスびんセグメント

プラスチックセグメント

 NIHON YAMAMURA GLASS

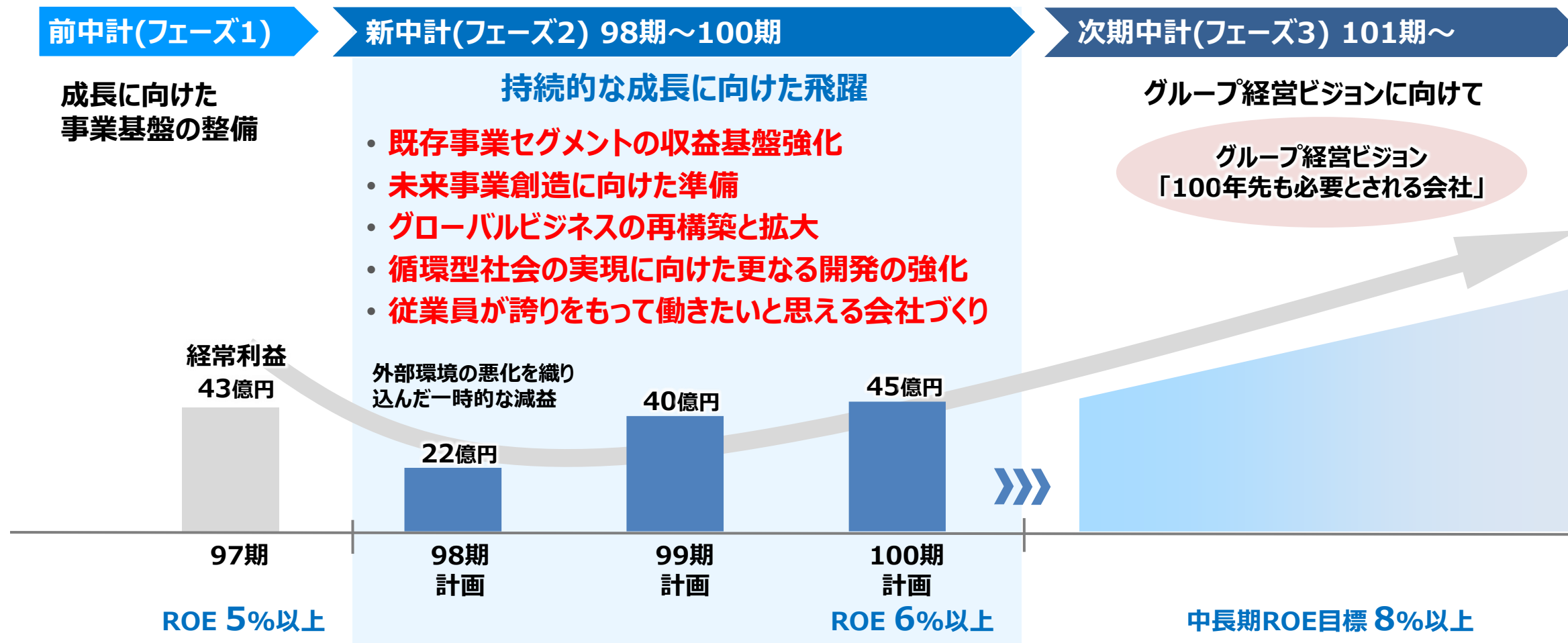
ニューガラスセグメント

物流セグメント

「持続的な成長企業であり続けるため、
経営陣、従業員、各ステークホルダー、地域社会が1つにつながる」


新中期経営計画

- 新中計期間（98～100期）を「持続的な成長に向けた飛躍」と位置づけ、着実な成長を目指す



数値目標

- 新中計3ヶ年において売上高・経常利益ともに拡大
- 98期はガラスびん出荷量の減少、前中計で実施したガラスびん溶解炉の定期修理による償却費増等の他、中東情勢による影響を踏まえ、減益を想定
- 100期のROE目標は6%以上とし、着実かつ段階的な成長を目指す方針

	97期 実績	98期 計画	99期 計画	100期 計画
売上高	721億円	720億円	730億円	760億円
経常利益	43億円	22億円	40億円	45億円
ROE	5.9%	 6%以上		
自己資本比率	58.2%	50%台目安		

事業別戦略：ガラスびん関連事業

- ガラスびん業界のリーディングカンパニーとして、長年業界シェアNo.1を維持
- 生産・販売・物流を含めた一貫体制での高い品質
- カーボンニュートラルへの取り組みにおける、革新的技術を強み

中期経営計画3年間での取り組み

- 1 需要に応じた生産能力の最適化
- 2 ロボット化・AI・DX化等生産現場の未来化

中長期的な取り組み

- 1 ガラスびんのブランディング強化
- 2 事業化を視野に入れたカーボンニュートラルへの新たな取り組み
- 3 リサイクルの枠組みを拡大



事業別戦略：プラスチック容器関連事業

- 自社独自開発含め、ペットボトル用キャップを国内外で年間50億個生産・販売
- 台湾 宏全国際集団との多岐にわたるアライアンスを強み
- ペットボトル用キャップリサイクルシステムをいち早く構築、「大阪・関西万博2025」の「共創チャレンジ」枠にて、唯一2つの最優秀賞を受賞

中期経営計画3年間での取り組み

- ① 台湾 宏全国際集団とのアライアンス強化
- ② 中国の生産子会社 展誠の更なる成長、拡大



中長期的な取り組み

- ① 更なる海外パートナーとの連携
- ② CtoC¹・CtoV²・医療介護用途向け開発



(注) 1.「キャップ to キャップ」、使用済みペットボトル用キャップを同じ用途のキャップに再生する水平リサイクルを指す
2.「キャップ to バリュー」、使用済みペットボトル用キャップを価値あるリサイクル資源として再利用するアップサイクルを指す

事業別戦略：物流関連事業

- 全国41拠点の展開と高品質な物流ソリューションサービスを提供
- 多くの外国人を登用したグローバルな職場環境

中期経営計画3年間での取り組み

- 1 強みである「運送」「保管」「作業」の個別請負の他、3PL(サードパーティロジスティクス)での事業拡大
- 2 関東地方での事業拡大

中長期的な取り組み

- 1 国内のパートナーとの連携強化
- 2 顧客のグローバル展開を起点とした海外市場への段階的な参入



事業別戦略：ニューガラス関連事業

- 最先端のガラスセラミックス素材と加工技術をもとに、顧客ニーズに応じてカスタマイズした製品を提供
- 半導体基板材料においては、独自のグリーンシート加工技術が強み
- 世界的にも成長著しい「半導体」「エネルギー」「インフラ」「データ通信」「モビリティ」「AI」「センサー」がターゲット領域
- 成長エンジンとして、国内外の有力なパートナーとの連携強化により事業拡大

中期経営計画3年間での取り組み

- 1 海外パートナーとの連携強化
- 2 素材から下流への展開



中長期的な取り組み

- 1 成長市場への積極的な開発/営業展開
- 2 セラミックス素材・加工技術の強みを活かした新規事業開発促進
- 3 自動化、DX化推進による更なる競争力強化



会社名 RedNOx Inc.

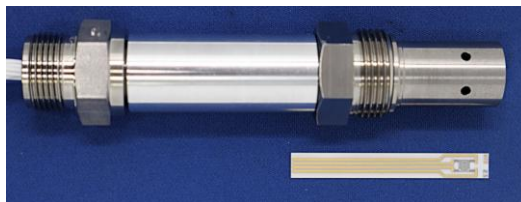
設立 2021年

所在地 米国カリフォルニア州フリーモント

CEO Dr. Solomon Ssenyange

- 温室効果ガスの測定精度が高い革新的なセンサー開発が専門
- モビリティ分野や農業分野において量産化に向け開発中

LoNOx 高感度NOxセンサー



AgriNOx 農業用N₂Oセンサー





ITRI
Industrial Technology
Research Institute

工業技術研究院

Industrial Technology Research Institute

設立 1973年
所在地 台湾新竹市
董事長 吳政忠

- 台湾最大の産業技術研究開発機構
- 世界トップの半導体ファウンドリTSMC、UMCを代表例とする240社以上のベンチャー企業を設立
- 半導体向けガラスセラミック基板の開発を加速するため、ITRIと連携し、次世代半導体材料分野に進出

研究分野

電子/半導体・光エレクトロニクス・精密機器・
バイオ/ヘルスケア・自動車等、多岐に亘る



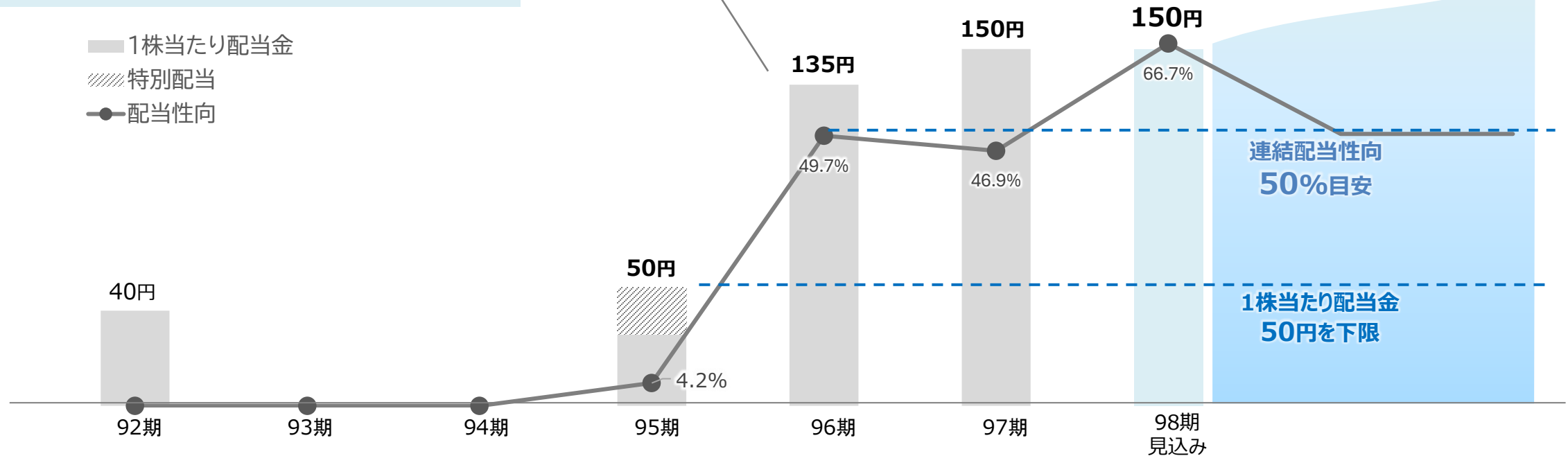
株主還元方針

- 配当は現状方針を維持（連結配当性向50%を目安、1株当たり配当金50円を下限）
- 引き続き、利益成長に応じた継続的な配当額の増加を目指す方針
- 98期の1株当たり配当金は減益見通しながら、97期の150円を維持
- 当社グループ商品や事業内容への理解、中長期的な株式保有を目的として、2026年2月に株主優待制度を新設

株主還元方針

- 連結配当性向50%を目安
- 1株当たり配当金50円を下限

■ 1株当たり配当金
 ▨ 特別配当
 ● 配当性向



前中期経営計画

96期から連結配当性向50%を目安に引上げ

新中期経営計画

**98期は減益見通しても、
減配せず配当金150円を維持**

連結配当性向
50%目安

1株当たり配当金
50円を下限

【ガラスびん関連事業】第22回ガラスびんアワード 2026

- 「第22回ガラスびんアワード 2026」において、**当社およびグループ会社の山村製壺所のガラスびんを使用した商品が、各賞を受賞**

富永美樹賞

Can Water 株式会社 様
EASTBLUE M
ガラスびん：日本山村硝子



未来リネ賞

ACOU SPIRITS 株式会社 様
ACOU RUM Silver
ACOU RUM Aging a FIRST EDITION 2025
ガラスびん：山村製壺所



日本ガラスびん協会特別賞

雪印メグミルク株式会社 様
宅配びん商品
ガラスびん：日本山村硝子



日本ガラスびん協会特別賞

ニッカウヰスキー株式会社 様
ブラックニッカブランド
(クリア/リッチブレンド/ディープブレンド/スペシャル)
ガラスびん：日本山村硝子、ほか二社



- 「2025年日本国際博覧会」(大阪・関西万博)「TEAM EXPO パビリオン」に参加
- プラスチックリサイクルプロジェクト「RIN～Recycle Innovation in the New Normal～」についての展示を行い、3日間合計で約8,600名の方が来場
- 「みんなで選ぶ！TEAM EXPO」においては、全9部門のうち、「イノベーター賞」および「みんなで選ぶ共創チャレンジ賞」の2部門をW受賞



RECYCLE INNOVATION
IN THE NEW NORMAL

RINは、びんとびん構想に端を発し、使い終わったペットボトルキャップを再び新たなキャップや新たな価値へと生まれ変わらせることを中心とした、プラスチックリサイクルプロジェクト

展誠（蘇州） 塑料製品有限公司

- **中国飲料需要の伸び**を受けて、プラスチックキャップの**販売が好調**
⇒ **生産能力を増強するため、拡張移転を実施**

所在地：中国江蘇省太倉市

稼働開始：2026年3月



第1号議案

剰余金の処分の件

招集ご通知 8ページ

第2号議案
**取締役（監査等委員である
取締役を除く。）5名選任の件**

招集ご通知 9～13ページ

第3号議案
定款一部変更の件
**(価格適正化及び収益安定化に
向けた特別委員会の設置)**

招集ご通知 15～18ページ

質疑応答

議案採決



YAMAMURA ONE